

# 平成 24 年度 健康診断結果の概説

## Ⅱ. 血液検査項目(機能別)について

### 12) 前立腺検査(図表 J1-9-12): 前立腺特異抗原(PSA)

受診者数: 22,328 人、有所見率: 2.5%

PSA 値は前立腺の肥大、炎症、がんなどで上昇することがあります。年齢層別平均値(図表 J1-7-21)の変動はあまり大きくありませんが、50 歳台以上では徐々に上昇します。有所見率も 30 歳台以降に加齢とともに上昇し、特に 60 歳台以降で著しく、65 歳以上には 10%に迫ります。人口の高齢化や食事の欧風化の影響で、前立腺がんは今後増勢をたどると予想されています。前立腺マーカーである PSA 検査の重要性はこれから一層高まるでしょう。ただ、前立腺がんは進行が緩やかなものも多く、これが死因となる率は他のがんに比べて低いので、しなくてもいい手術を受けた後につらい後遺症が起きるなど、行き過ぎた治療が増える懸念もあります。がんがあると判れば、慎重に治療方法を決めることが大切です。